

子育てにもっと安心を

消費税10%増税ストップ 子どものための予算を増やして

安倍政権が10月からの消費税10%増税を「幼児教育・保育無償化」実現の条件にしていることは、国民の願いを人質にとるものです。

4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙で「増税ノー」の審判をくだし、増税実施をストップさせましょう。声をあげ、自民党を減らせば増税は止められるし、「無償化」の願いも実現できます。

■ 財源はあります

これまで優遇され、ばく大なもうけをあげている大企業や、カルロス・ゴーン氏のような富裕層に応分の税金を払ってもらえば、消費税増税分の4兆6000億円はつくりだせます。

◇大企業の法人税率をせめて中小企業並みにする 4兆円

◇大株主優遇税制を是正する 1.2兆円

■ 大軍拡・兵器の「爆買い」より、子どもたちのための予算を!

トランプ大統領いいなりに米国製兵器の爆買いをする安倍首相。1機116億円もするF35ステルス戦闘機を105機も買う予定です。一方、保育所などへの国の支出は国際的にも最低水準。もっと子どもたち、社会保障に予算を使う政治に転換させましょう。



みなさんと力を合わせてがんばります



参議院議員(東京選挙区選出)
吉良よし子
<http://kirayoshiko.com>
Twitter icon Facebook icon

子育てを応援する政治へ

日本共産党はとりくみ続けています



「保育園落ちた」——東京都内でも認可保育園を希望しながら入所できない子どもたちがたくさんいます。国がまともな対策をうたず、東京都も認可保育園増設に背をむけ、認可保育園の数が増えない時期が長く続いていたからです。

日本共産党はみなさんとごいっしょに、こうした状況を変えるためになんばってきました。そして、これからもがんばっていきます。

東京
民報

2019年3・4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行・東京民報社 東京都港区芝1-1-9平和会館5階 (1965年11月12日 第三種郵便物認可)

日本共産党

Japanese Communist Party



認可保育園ふやし、保育士さんの待遇改善を

日本共産党は ママ・パパの願いにこたえ、
認可保育園増設を各地で実現してきました



東京では2010年度から認可保育園は増えはじめ、2010～2014年度の4年間で279カ所、さらに2014年度から2018年度の4年間では792カ所と約2.8倍のペースで認可保育園の増設がすすんでいます(右下のグラフ)。

日本共産党は、ママ・パパたちの「安心してあずけられる保育園を増やしてほしい」という願いにこたえて、都議団と各自治体の地方議員団が連携して調査と提案を粘り強くおこない、各地で認可保育園を増やしてきました。

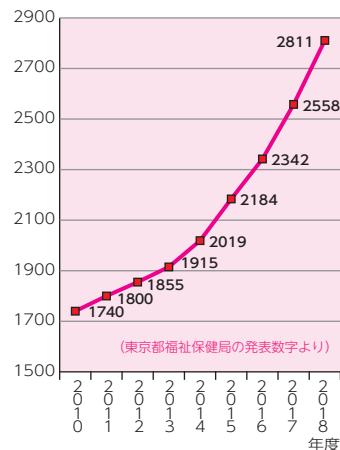
都議会では

認可保育園増設を待機児対策の中心にすえるよう主張してきたのは共産党だけ。共産党は毎年、待機児童数の独自調査を実施し、都有地活用や補助の拡充などくりかえし提案。2013年の都議選で8議席から17議席へ、さらに18議席へと躍進した力で条例提案もおこない、東京都をうごかしてきました。

区市町村議会では

各自治体の共産党議員団が、ママ・パパたちと一緒に運動を広げるとともに、切実な要望をかがげて議会で論戦。未利用の都有地・公有地を調べ、保育園への活用を提案し、各地で認可保育園増設実現への道すじをつけてきました。

認可保育所の施設数の推移



もうひとつの大切なこと

「保育の質」の確保へ 保育士の給与・待遇 の抜本的改善を

安心して預けられるためには量だけでなく「保育の質」が大切。その要は保育士の確保です。国会では野党が共同して保育士の給与を月額5万円引き上げる「保育士処遇改善法案」を提案しています。

「待機児ゼロ」を2020年度末まで先送りした安倍政権が力を入れているのは、既存の保育施設へのつめこみと、有資格の保育士が半分でよい「企業主導型保育」。

こんなゴマカシの対策を許さず、「保育の質」を守るために日本共産党は全力を尽くします。



待機児ゼロへ全力。**日本共産党**を伸ばしてください。